



自衛隊栃木地方協力本部

さよなら大田原地域事務所の雄 ～仲間に愛された大田原地域事務所の「神」、定年を迎える～



定年退官の辞令交付の様子



別れを悲しむ大田原地域事務所員



本部長（左）、山口陸曹長、大田原地域事務所長（右）



レスリング大会優勝経験のある山口曹長に
メダルのレプリカの贈り物



別れを惜しむ大田原地域事務所広報官（黒崎3陸曹）

自衛隊栃木協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、12月3日（水）をもって、定年退官された山口孝二陸曹長の活動を紹介する。

山口陸曹長は、自衛隊体育学校（レスリング）、東京地本（援護）、栃木地本（援護）等を歴任し、最後は、大田原地域事務所において、令和7年2月から、広報官の業務支援として勤務した。短い間であったが「スーパーお助けマン」として様々な場面で大田原地域事務所に貢献してくれた。

退官日前日の出勤日においても、広報官が年末の挨拶に使う予定の1400枚のカレンダーを袋詰めし、いつでも配布できる様に準備するなど最後の最後まで「縁の下の力持ち」として積極的な活動を行ってくれた神のようなスーパーお助けマンに大田原地域事務所員一同、長年の勤務をたたえるところにも心から感謝した。

山口陸曹長からは、「自衛隊で様々な経験ができました。様々な人に感謝したい。最後に大田原事務所で勤務することができてよかった。募集が厳しい時期であるが、後輩たちに頑張ってもらいたい」と語ってくれた。

大田原地域事務所は「今後も山口陸曹長からの教えを活かしていくとともに、最後の最後まで支援して頂いた「神」に感謝したい」としている。



大田原地域事務所お別れ会